



校訓「至誠」

母校 元小

学 校 だ よ り
令 和 7 年 9 月
川口市立元郷小学校
児童数：432名



元郷小HP

時間を意識する

校長 根本 広徳

暑い夏が続いていますが、みなさん夏休みをどのように過ごしたでしょうか。夏休みに入る前の朝会で、「時間だけは、だれにでも同じように与えられています。時間を意識して夏休みを過ごしてください。」と伝えましたが、時間を意識して過ごすことはできたでしょうか。

今年は戦後80年ということで、戦争や平和について様々な場面で見たり、聞いたりしたと思います。戦後80年というのは、先の大戦が終わって、その後、日本では戦争がなく平和な時間が80年続いているということです。80年というと日本人の平均寿命が男性81歳、女性87歳(2024年)ですから、一人の日本人が生きる年数ぐらいになります。しかもその80年は私達から離れた数字ではなく、1年生のみなさんは6～7年間、6年生のみなさんは11～12年間がその中に含まれることになります。みなさんが同時に生きて平和に過ごした80年ということです。

みなさんは、80年が長いと感じますか、短いと感じますか。私達はふだん自分の寿命がどこまでなのか考えることはしないのではないのでしょうか。だから、何となくこのままずっと生きていくような感じで生きているのではないのでしょうか。しかし、人は産まれたときに確実に決まっていることがあります。それが寿命です。永遠に生きているのではないのです。人生100年時代ということが言われています。4、5年生に当てはめると10歳ですから、寿命100のうち10が終わったということになります。私(校長)は、50代後半になりましたので、寿命100のうち50～60が終わろうとしています。あと生きるのは長くて40になります。そうすると時間はあるようで、実はそれほど多くはないことがわかります。そうすると、時間に対する意識が変わってきます。残された時間をどう使ったらいいのか考えるようになります。

夏休みを振り返ってみて、もしかしたら、もう一度戻ってやり直したいと思っている人がいるかもしれません。どうしてそうなったのでしょうか。それは、時間の使い方が自分でうまくコントロールできなかったことにあります。自分で時間を意識していかないと、いつの間にかだれかにコントロールされてしまうことになります。「～しなさい」「～はできたの」と、同じことをやるにしても、だれかから言われてしたことと、自分の意志から行ったことでは、後に残るものが違ってきます。振り返った時に納得のいく過去であるために、今のこの時間にすることを自分で決めていってください。人から言われてしたことは、失敗すると人のせいにすることになりますが、自分で決めたことは、たとえ失敗したとしても、反省をして自分の力になって次に生かされていきます。自分の人生は自分の責任で作っていきましょう。

さて、今年の夏休みは時間を意識して過ごすことはできましたか。できた人はすばらしい。その調子です。できなかった人は、だいじょうぶ、今日から時間を意識して自分でものごとを決めていってください。みなさんが時間を意識して、時間を大切にすることで、今年の戦後80年を次の100年、200年へと続く、戦争のない平和な時代をともに創っていきましょう。

だれもが同じように、自由に時間が使える時代が続くことを願います。